



た どの たけ お  
**田 殿 武 雄** (46 歳)

現職  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
地球観測研究センター  
主任研究開発員



い し だ はる ゆき  
**石 田 治 行** (61 歳)

現職  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
衛星利用運用センター  
特任担当役



お だ ふみ こ  
**織 田 史 子** (44 歳)

現職  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
有人宇宙技術部門事業推進部  
参事



みな かわ けん た  
**皆 川 健 太** (43 歳)

現職  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
セキュリティ・情報化推進部  
輸出管理・技術情報課 課長



ない とう し の  
**内 藤 詩 乃** (43 歳)

現職  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
調査国際部調査分析課 主査

## 全世界デジタル標高データによる地理空間情報基盤技術の振興

### 業績

近年、全地球測位システム (GPS) やインターネット、携帯端末などの普及にともない、地図に代表される地理空間情報の充実に期待が寄せられている。地理空間情報は水平方向の位置と高さが基盤となるが、これらを広域もしくは全世界規模で整備・更新することは容易ではない。

本活動では、陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS) によって撮影された約 300 万枚の画像を用いて、全世界陸地の約 91% を水平解像度 5m、高さ精度 2.7m で表現する「全世界デジタル 3D 地図」(AW3D) を民間事業者と共同で 2016 年 3 月に整備し、商用販売による産業振興と 30m 解像度の標高データの無償公開によって衛星プロダクトの利用の拡大を進めている。

本活動により、この三年間で商用販売では 60 ヶ国以上、新しい分野での利用を含め 300 件超の導入実績があり、無償公開ではユーザ登録数は約 7,700 名、提供数は約 1250 万タイル (全世界陸地面積の約 570 倍に相当) と着実に増加していることから、地理空間情報の基盤データの一つとして定着しつつあるとともに、産業振興や国民の安全・安心な社会の実現に寄与している。

主要論文：「PRISM/DSM モザイクの作成と評価」日本リモートセンシング学会誌、Vol.33、No.2、pp.126～136、2013 年 4 月発表

「Precise Global DEM Generation by ALOS PRISM」International Society of Photogrammetry and Remote Sensing (ISPRS) Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences、Vol. II-4、pp.71～76、2014 年 5 月発表